

大腸癌肝転移手術治療を受けられた患者さんの 情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

[研究課題名] 大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法の有効性の検討

[当院の研究責任者] 肝胆膵外科 和田幸之

[研究の背景]

現在、大腸癌肝転移に対する第一選択肢の治療法は、治癒の得られる可能性が最も高く、良好な予後が得られている肝切除と考えられています。また一方で、肝転移に対する焼灼治療は局所制御力が高く有効な治療法の 1 つと考えられています。しかし、エビデンスが多くないため焼灼治療の効果と有効性をはっきりさせるためにはさらなる研究成果が望まれています。

[研究の目的]

本研究は、大腸癌多発肝転移患者を対象として、当科におけるマイクロ波凝固壊死療法(MCN)を用いた手術治療の有用性を後方視的に検討することを目的としました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸癌肝転移の患者さんで、西暦 1994 年 4 月 1 日から西暦 2018 年 12 月 31 日の間に手術の治療（検査）を受けた方（除外項目；大腸癌肝転移の初回手術治療が他院で行われた方）

●研究期間：承認日から西暦 2023 年 7 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

西暦 1994 年 4 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 31 日までのカルテ情報を使わせてい

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

ただきます。

検体：ありません

カルテ情報：

* 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、再発日、再発に対する治療方法、生存期間。

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

肝胆膵外科 和田 幸之

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700